

「人件費を確保しながら、 日本人を現地に派遣するノウハウ」

＜緑のサヘルの紹介＞

- ・これまでの流れ
- ・実施方法の変換

＜自己資金の視点から＞

- ・自己資金を拡大する＝自前で人件費を用意する
- ・自己資金を節約する＝他所から人件費を引っ張ってくる

＜事業形態の視点から＞

- ・事業をどう捉えるか＝グローバルな視点
- ・派遣をどう考えるか＝ピンポイントの視点



＜緑のサヘルの紹介＞

＜これまでの流れ＞

- 1991年3月、設立。「サヘル地域に住む人々と共に地域住民の食糧自給の達成を目指し、砂漠化を防止し、緑を減らさない方策を講じながら、より積極的に緑を殖やす努力を推進し、地球環境の保全、自然生態系の復元に寄与」することを目的とする。
- 1992年、チャド共和国において、プロジェクト開始。
- 1996年、ブルキナファソにおいて、プロジェクト開始。
- 2004年、UNHCRとのパートナー事業に参加（スーダン難民支援）。
- 2004年、環境省委託事業に実施団体として参加。
- 2004年、緑のサヘルチャド（AGS-Tchad）、設立。

<事業実施方法の変換>

日本人調整員 常駐

<プロジェクト>

ローカル スタッフ	<緑を増やす> ・育苗 ・植林
ローカル スタッフ	<緑を減らさない> ・改良カマド ・植生保護区
ローカル スタッフ	<住民生活を守る> ・野菜栽培 ・稲作 ・大豆 ・組合支援(種子貸出) ・季節河川の護岸
ローカル スタッフ	<有機的活動> ・果樹 ・アグロフォレストリー ・砂丘固定

日本人 短期出張

<プロジェクト>

ローカル団体

<緑を増やす>
 ・育苗
 ・植林

<プロジェクト>

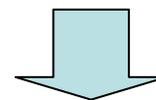
ローカル団体

<緑を減らさない>
 ・改良カマド
 ・植生保護区

<住民生活を守る>
 ・野菜栽培
 ・稲作
 ・大豆
 ・組合支援(種子貸出)
 ・季節河川の護岸

ローカル団体

<有機的活動>
 ・果樹
 ・アグロフォレストリー
 ・砂丘固定



地域住民

<自己資金の視点から>

自己資金を拡大する＝自前で人件費を用意する

会員拡大

収益事業

人材派遣(出稼ぎ)

自己資金を節約する＝他所から人件費を引っ張ってくる

委託、パートナー事業

専門家派遣制度

インターン制度

<事業形態の視点から>

事業をどう捉えるか = グローバルな視点

- 日本人スタッフの常駐を行なわない。
ローカル団体への支援
短期出張ベースへ移行
- 委託事業を受ける。
JICAとのパートナー事業(草の根技術協力)
国際機関とのパートナー事業
他団体事業への人材派遣

派遣をどう考えるか = ピンポイントの視点

- 民間助成団体が実施
技術指導者としての派遣
プロジェクト形成調査
- JICAが実施
帰国隊員NGO活動支援事業
JOCV枠UNV